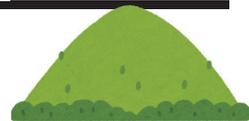




## 「夏は受験の天王山」という謳い文句もありますが

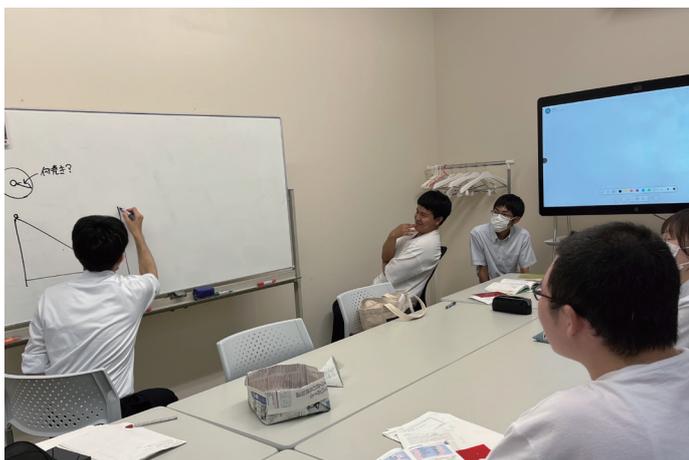


まちなか鳳雛塾でも、日々塾生が勉学に勤しんでいます。まちなかスタッフは塾生と面談を進めながら、それぞれに合った授業やアドバイスを提供しています。特に高校3年生の進学希望者は、入試に向けた対策授業を多数受講していて、入試学力アップのためにがんばっています。生徒のひたむきな姿を間近で目にしていると、私たちまで前向きな気持ちになりますね！

また、能登高校の夏期学習会では、会場提供やまちなかスタッフの出張授業を行いました。さらに、高校で行われた進研模試の解説を行う「模試振り返り会」もまちなかスタッフが担当しました。能登高校の教員方とも連携して、生徒のサポートにあたります。

「夏は受験の天王山」という謳い文句もありますが、豊かな学びとは、机に向かって入試勉強をすることだけではありません。8月より他地域の高校生と協働で、町の魅力を伝える動画を作成するワークショップ「イナカアレコレ MOVIE」が開始しています。初回は、輪島、門前、糸魚川の各地域から総勢17名の生徒が参加しました。オンラインで交流をしながら、地域の魅力や自分の興味を掘り下げていく高校生。普段と違うメンバーと刺激を与え合いながら課題に取り組みます。

他にも、塾生が耕した「まちなか農園」で野菜を収穫したり、県外までオープンキャンパスに行ったり、外の暑い日に少し涼みに塾まで立ち寄ったり、夏季の過ごし方は様々です。色々な体験をする中で成長している様子が日々感じられます。



まちなか鳳雛塾会場の夏期学習会



まちなか農園 タネ植え

## 続々とオープンキャンパスに参加しています！

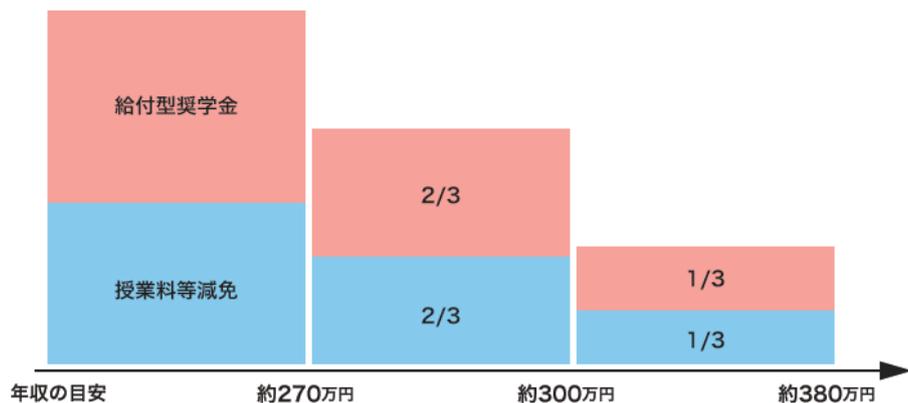
模擬授業や進路相談を受けることができたり、大学生と交流して雰囲気を知ることができたり、大学選びにとって欠かせないオープンキャンパス。塾生も続々と参加しています。それぞれ行き先は様々で、金沢周辺の大学や専門学校、県外では大阪や東京の大学を見学した生徒もいます。実際に行ってみると、大学・専門学校での授業内容を知るだけでなく、キャンパスや学生の空気を知ることができたり、その街で暮らすイメージがつかれたり、とても貴重な時間になると参加生徒は話していました。

# 高等教育の修学支援新制度：いわゆる大学無償化についてご存知ですか？

高等教育の修学支援新制度は令和2年からスタートしています。授業料・入学金の免除または減額と、給付型奨学金により、大学や専門学校などの修学が支援される制度です。

ご家庭の経済状況や進学先の学校によっては、実質負担なしで大学や専門学校などを修学できる場合があります。その他、私立大学に進学しても、支援なしで国立大学に通うのと同程度の負担になる場合などがあります。

文部科学省から同制度について説明するHP・動画が出ているので、是非参考にしてみてください。



学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援新制度：文部科学省 HP より引用

同 HP リンク (文部科学省)

## 新スタッフ！中村さんの推薦図書

7月より着任の新スタッフ、中村俊介さんからの推薦図書をご紹介します。中村さんは広島大の大学院で量子物理を専攻していた経験を活かし、主に理系科目を担当しています。夏休みの期間だけでも授業を数多く担当しており、理系の塾生にはもうすっかりお馴染みの先生ではないでしょうか。

(以下中村さんより推薦文)

唯脳論は世界の仕組みを脳機能のアナロジー（類比）として捉えます。例えばお金と物、一見無関係なものが、なぜ人間社会では交換可能なのでしょうか。筆者はその不思議な現象を脳機能のアナロジーで説明します。脳というよりも、アナロジー思考を学びたい人にとって必読の書です。



唯脳論 (ちくま学芸文庫)

著：養老孟司

お知らせ

◇能登高校魅力化プロジェクト公式サイト/SNSでもお知らせを随時掲載しています。



公式サイト



Facebook

